

令和7年度事業報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

当財団は、北陸先端科学技術大学院大学の教育研究並びに同大学と産業界、学術関係機関及び地方公共団体等との交流の支援を図り、もって創造的な科学技術の発展に資する人材の育成及び研究開発基盤の充実に寄与することを目的に、3部門の公益目的事業を実施しました。

<事業部門>

I 公益目的事業1

北陸先端科学技術大学院大学の教育研究に対する助成事業及び選考委員会の開催

1 教育研究に対する助成

(1) 調査研究助成 17,000千円

先端的研究拠点の形成・構築実現のための専門性の高い研究と大学の若手研究者が行う分野を超えた共創的研究に対し助成を行いました。

- ・研究拠点形成支援事業 先端研究拠点形成支援 (1件 4,000千円)
 - (1) 身体性空中ロボティクス
(ナノマテリアル・デバイス研究領域・教授 ホアン ヴァン)
 - (2) 瞬間熱処理によるペロブスカイト膜の相変化促進とその太陽電池応用
(サステイナブルイノベーション研究領域・教授 大平 圭介)
- ・研究拠点形成支援事業 萌芽的研究支援 (11件 6,000千円)
 - (1) 天然変性型タンパク質を基盤とした新規 anti-fouling 材料の創成
(物質化学フロンティア研究領域・講師 西田 慶)
 - (2) リチウムイオン伝導にともなう全固体電池正極の相変化の動的ナノ解析
(ナノマテリアル・デバイス研究領域・講師 麻生 浩平)
 - (3) 長残光蛍光体における電子移動過程のその場観測
(物質化学フロンティア研究領域・准教授 上田 純平)
 - (4) 可視光通信における超高速白色LEDの開発
(次世代デジタル社会基盤研究領域・講師 ホツウエイ)
 - (5) 大規模言語モデルの信頼性検証
(人間情報学研究領域・講師 ケド^トキヤートカ^チョン ナツクワット)
 - (6) 構造化知識と生成AIを活用した業務振り返り支援方法の提案
(トランスフォーマティブ知識経営研究領域・講師 伊集院 幸輝)
 - (7) クリエイティブ・フィジカルインテリジェンス研究の開拓
(創造社会デザイン研究領域・准教授 謝 浩然)
 - (8) 触媒化学気相堆積 (Cat-CVD) とナノインプリントを利用した坩堝内壁コーティングの検討
(サステイナブルイノベーション研究領域・講師 前田 健作)

- (9) プラットフォームビジネス時代における共通価値の創造：社会的規範の促進に向けたライドヘイリングプラットフォームからの洞察
(トランスフォーマティブ知識経営研究領域・講師 ジャグィット アケ)
- (10) カテゴリカルデータ分類における説明可能なAIのための量子化手法
(共創インテリジェンス研究領域・助教 ゲン モトアソ)
- (11) 新規ホウ素系添加剤を用いた高電圧動作下におけるリチウムイオン電池性能の高度化
(物質化学フロンティア研究領域・助教 マトリプラカタ バラト リ ミラ)

・実践的キャリア形成支援事業 人材育成支援 (7,000 千円)

博士人材の産業界における活躍促進をはじめとする学生のキャリア形成のため、学内合同業界研究セミナーや学内合同企業インターンシップ説明会など年間を通して様々な就職支援行事に助成を行いました。

(1) 就職支援行事等助成

- ① 学内合同業界研究セミナー
- ② 学内合同企業インターンシップ説明会
- ③ 新入生就職ガイダンス
- ④ 博士後期課程学生向け就職ガイダンス
- ⑤ 内定学生懇談会
- ⑥ 外国人留学生のための就職ガイダンス
- ⑦ 博士人材ロールモデル座談会
- ⑧ 博士のキャリアパスを知るワークショップ
- ⑨ 就職相談

(2) 就職支援環境整備助成

- ① 就職関連図書整備
- ② 就職PR紙の発行

(2) 学生研究奨励金 49件 6,924千円

大学の研究科(博士後期課程)の学生のうち、優れた研究活動を行う学生に対し、研究奨励経費の助成をしました。

(1) 財務・会計

(ホアン ヒエップ トロン：知識科学系)

- (2) 災害後の環境では、不規則な瓦礫や複雑な構造物の認識が困難であり、効果的な対応や復旧計画の妨げとなっています。本研究は、これらの課題に対処するため、災害後の状況に特化した点群データのセマンティックセグメンテーション手法の開発に焦点を当てています。

(ル ジャアハ：知識科学系)

- (3) 本研究は、タイ国内のさまざまな地域における大気中PM2.5濃度と心肺系死亡率との時空間的な関連を調査するものである。

(グヤ スハイミ：知識科学系)

- (4) 説明可能な機械学習とマルチソース空間データに基づくグリッドレベルの雪害リスク評価とレジリエンスモデリング

(ヨウ シンウ：知識科学系)

- (5) 人工知能を活用したLMSにおけるオンライン学習活動が第二言語話者の教室内スピーチ不安を軽減する可能性の検証

(リュウ シン：知識科学系)

- (6) 効果的な高齢者再雇用：知識行動に注目した日本の先進的企業の事例分析
(丸尾 克行：知識科学系)
- (7) セルフケアにおける心理的プロセスの研究：トラッカー活用プログラムの事例研究
(重野 悟：知識科学系)
- (8) 中国上場企業のCSR/ESG 報告書にみる「ダブルカーボン目標」への態度：テキスト・感情分析
(シャウキ：知識科学系)
- (9) ユーザ指定最適化に対応したマルチ目的車両経路問題における強化学習と焼きなまし法のハイブリッドアプローチ
(リラーキ タハット：知識科学系)
- (10) 中小製造企業における競争優位——組織知に着目した事例分析——
(田代 功：知識科学系)
- (11) WB 志向の金融サービス (Transformative Financial Service) の実現に向けたFWB の見通しビュー (Prospect-Based View) について
(小粥 泰樹：知識科学系)
- (12) レーダーエコーと地表面温度に基づく石川県における雷発生の誘因メカニズムおよび空間分布の分析
(オウ アナン：知識科学系)
- (13) 地形情報に基づく被災前後SAR 画像の強度差分解析による土石流検出手法の検討
(大平 尚輝：知識科学系)
- (14) フラッシュファイルシステムにおけるマルチヘッドロギングの性能評価
(エン キョウセイ：情報科学系)
- (15) 離散構造上の計算幾何学における組合せ遷移問題の計算複雑さの解明
(山田 武：情報科学系)
- (16) 繊維を添加したポリ乳酸が熱処理時に示す形状変化
(グォ ホアン ギアングァイ：マテリアルサイエンス系)
- (17) 流動剪断履歴を受けたアイソタクチックポリプロピレンフィルムにおけるメルトメモリー効果
(キョ コクエン：マテリアルサイエンス系)
- (18) ROSE (ROtated-based Soft grippEr)：形態計算を活用した回転駆動型ソフトグリップパーによる柔軟かつ頑丈な把持操作
(グエン ホイ タン：マテリアルサイエンス系)
- (19) バイオマス由来イソソルビドポリカーボネートのレオロジー特性の改良
(カン ズイキ：マテリアルサイエンス系)
- (20) 低分子量・非相溶性ポリマーの添加によるバイオマス系プラスチックの粘度低減
(タサカン ナンティエ：マテリアルサイエンス系)
- (21) 抗がん剤候補としてのカチオン性ポリマーコーティング酸化マグネシウムナノ粒子の有効性
(シャヒートム ハマトフナイン：マテリアルサイエンス系)
- (22) 非相溶な低分子量PMMA を用いたPP の流動誘起結晶化による性能向上
(北畠 志温：マテリアルサイエンス系)
- (23) 暗黒環境における蓄光材料を用いた Visual SLAM
(財部 駿星：マテリアルサイエンス系)

- (24) 界面分割法による各種多糖膜作製とマイクロ構造分析
(八田 泰輔：マテリアルサイエンス系)
- (25) 温度勾配下における可塑化ポリスチレンの分離挙動
(ヒュン キム トア ティ：マテリアルサイエンス系)
- (26) バイオマスプラスチックの流動誘起結晶化に関する研究
(ヒョウ ミズキ：マテリアルサイエンス系)
- (27) 2024 年能登半島地震における初動対応のナレッジ構造化
(福田 勝仁：知識科学系)
- (28) 実際・理想・異なる：バーチャルリアリティ (VR) におけるアバターのアイデンティティと自己存在感
(チン ガブソ：知識科学系)
- (29) 進路指導におけるチャットボットを介した自己開示の意識変容—支援を必要とする学生の困難開示を促す要因—
(清水 孝之：知識科学系)
- (30) 言語的思考における認知的連携メカニズムの実証：階層操作とリフレーミングの相乗効果
(笠野 純基：知識科学系)
- (31) 行列因子分解を超えて：ホテル推薦のための深層ニューラルネットワーク埋め込み表現
(チャン スン タン：知識科学系)
- (32) スケッチ入力に基づく住宅レイアウトの最適化と高精度都市ヒートアイランド予測システム
(チェン ショウジュ：知識科学系)
- (33) MagicLiveRoom：仮想アバターと実世界環境を統合するライブ配信システム
(ウカカ：知識科学系)
- (34) 環境適応能力の高い四脚ロボットの実現に向けた剛体フレームと粘弾性要素から形成される柔軟な胴体の設計開発
(コウ ウケン：情報科学系)
- (35) 知覚的に頑健な音声を生成する聴覚フィードバック
(清水 美聖：情報科学系)
- (36) 瞬時位相特徴の時間-周波数導関数を用いた異常音検知
(ガオ トラン クアン トゥアン：情報科学系)
- (37) SysML メタモデルを用いた宇宙機システム運用シナリオの検証
(染谷 一徳：情報科学系)
- (38) 時が語る：最先端大規模言語モデルにおける時間的出来事順序の理解 — 性能・限界・人間との比較
(ソウ ビ：情報科学系)
- (39) VLSP 2025 MLQA-TSR チャレンジ：交通標識規制に関するベトナム語マルチモーダル法的質問応答
(ルウ ソン タン：情報科学系)
- (40) マルチエージェント大規模言語モデルシステムを用いた科学知識グラフに基づくエンドツーエンド質問応答
(グエン ヒエンデ イェウ：情報科学系)
- (41) 大規模言語モデル (LLM) を訓練し、ウェブフォーム操作テスト用の実行可能 Selenium スクリプトを自動生成する
(レカン グエン：情報科学系)

- (42) 非経験的構造決定を通じた Ziegler-Natta 触媒のドナー支配的設計原理の解明
(ダシルベイラジョアンマルコス:マテリアルイェンス系)
- (43) ヒトの指構造を模倣したビジョンベース触覚センシングの多機能性実証に関する研究
(友水 豪志:マテリアルイェンス系)
- (44) 架橋 PHA 粒子による PHBH 樹脂の力学強度改質に関する研究
(園山 亜里紗:マテリアルイェンス系)
- (45) 「ポリビニルピロリドンブレンドによる樹脂改質の研究」
(池元 結衣:マテリアルイェンス系)
- (46) アップコンバージョンナノ粒子を用いた双安定型オプシン OPN5 の近赤外光による制御
(小手川 福笑:マテリアルイェンス系)
- (47) ランタン系 MOF 触媒を用いたバイオマス由来化合物のバイオ燃料への触媒変換
(プラディーハンガイヤ:マテリアルイェンス系)
- (48) 垂直封止材なし結晶シリコン太陽電池モジュールの開発
(スマルデイトリアンアウガストメントザ:マテリアルイェンス系)
- (49) 3-cyanovinylcarbazole (CNVK) を用いた光化学的二重鎖侵入法
(ズミラハリ:マテリアルイェンス系)

2 選考委員会の開催

前記助成事業に対する選考委員会（選考委員 5 名による書面選考）を 9 月、11 月及び 1 月に行いました。

II 公益目的事業 2

企業と大学との共同研究助成事業及び産学官交流事業

1 共同研究の実施に対する助成 10件 6,831千円

企業等が北陸先端科学技術大学院大学と共同で行う先端科学技術分野に関する研究に対し、企業等に対しその研究費の一部を助成しました。

- (1) 迅速簡便遺伝子センサーの開発
(株) バイオデバイステクノロジー／高村 禪:先端科学技術研究科教授)
- (2) 目視検査の自動化技術の研究開発
(株) オートインスペクト)／吉高 淳夫:先端科学技術研究科准教授)
- (3) アクリル樹脂の物性と粘度の関係に関する研究
(根上工業株)／山口 政之:先端科学技術研究科教授)
- (4) 液体電極プラズマを活用した自動元素分析システムの実用化
(株) マイクロエミッション／高村 禪:先端科学技術研究科教授)
- (5) 金属箔由来の金属微粒子の作製および導電性材料への応用
(金沢箔技術振興研究所)／村田 英幸:先端科学技術研究科教授)
- (6) 一酸化ケイ素材料を活用した 2 次電池に関する評価
テックワン株)／松見 紀佳:先端科学技術研究科教授)
- (7) 地方自治体向けデジタルサービスに関する研究
(株) アイ・オー・データ機器)／丹 康雄:北陸先端科学技術教授)

- (8) 大学発スタートアップ創出のための産学連携に関する研究
(一社)JAIST 支援機構／中田 泰子：先端科学技術研究科准教授)
- (9) ロボットOS開発シミュレーション技術に関する研究
(澁谷工業株)／丹 康雄：北陸先端科学技術教授)
- (10) 建材における通信・制御ソフトウェア開発技術に関する研究
(三協立山株)／丹 康雄：北陸先端科学技術教授)

2 北陸先端科学技術大学院大学未来創造イノベーション推進本部デジタル化支援センター助成 14,413千円

企業等のデジタル化に関する様々な課題解決のため、大学が設置するデジタル化支援センターの専任教員2名に対する人件費を助成しました。

3 技術指導・相談の実施に対する助成 2件 391千円

大学の「技術・サービス制度」を利用する企業等に対する経費の一部を助成しました。

- (1) (株)福光屋 (1件 300千円)
・技術サービスの内容 酒粕成分の質量分析計による測定に関する指導・助言
・技術サービス担当職員 芳坂 貴弘：先端科学技術研究科教授
- (2) (株)エイト (1件 91千円)
・技術サービスの内容 極低温下で温度制御された新規保冷剤の開発
・技術サービス担当職員 松村 和明：先端科学技術研究科教授

4 産学官交流の連携協力等 5,857千円

(1) 産学官交流推進事業 (4,897千円)

イベント名 : 北陸発の産学官金連携マッチングイベント

「Matching HUB Hokuriku 2025」※今回で12回目

メインテーマ : 地域の未来に挑戦!共創による持続的発展へのアプローチ

開催日 : 令和7年11月13日(木)・11月14日(金)

場所 : ANAクラウンプラザホテル金沢

主催団体等 : 北陸先端科学技術大学院大学未来創造イノベーション推進本部
公益財団法人 北陸先端科学技術大学院大学支援財団、
独立行政法人 中小企業基盤整備機構北陸本部、
一般社団法人 JAIST支援機構 ほか

参加人数 : 延べ 1,898名(2日間)

事業内容

① 講演

特別講演: パネルディスカッション共通テーマ

「地域の未来に挑戦!共創による持続的発展へのアプローチ」

講師: 岡山県西粟倉町 副村長 上山 隆浩氏

講師: 富山県商工労働部地域産業振興室 課長 高木 晶子氏

- ② パネルディスカッション
パネリストに、特別講演の講師のほか4名のパネリストを加え、能登半島地震からの復興に向けて、地域の産学官金それぞれが果たしていくべき役割について熱い議論を交わしました。
- ③ 学生ビジネスアイデアコンテスト（M-BIP）最終審査
全国から集まったファイナリストの学生達が審査員を前に、プレゼンテーション及び質疑応答に臨みました。
- ④ パネル展示 190ブース
北陸を中心に全国から集まった企業団体によるパネル展示や1分間プレゼンテーション Matching HUB Pitch を行いました。
- ⑤ 関係機関セミナー
北陸未来共創フォーラム主催の「ヘルスケア分科会 マテリアル分科会合同セミナー」を行いました。
- ⑥ 「TeSH DEMO DAY 2025」
Tesh GAP ファンドプログラム「ステップ2」「ステップ1」に採択されたテーマのポスターセッションやプレゼンテーション TeSH Pitch を行いました。

(2) 産学官連携・交流活動の開催や助成 (688 千円)
「JAIST フェスティバル 2025」で会場設営費の助成を行いました。
(来場者約 1,200 名)

(3) 機関誌『ADVANCED』の発行 (272 千円)
賛助会員、その他関係機関等に延べ511部を配布し、北陸先端科学技術大学院大学の教育研究活動の状況や支援財団の事業内容等について情報提供を行いました。

III 公益目的事業3

学生に対する奨学資金助成事業及び奨学生選考審査委員会の開催

1 奨学資金助成 4件 1,740千円

優秀な学生確保と北陸3県への科学技術者の定着を目的として、奨学資金を助成しました。

《特別枠》新規 2名 (博士前期課程1年)

《一般枠》新規 2名 (博士前期課程1年)、(博士後期課程1年)

合計 4名

2 奨学生選考審査委員会の開催

令和7年7月及び11月に奨学生選考に関する選考審査(奨学生選考審査委員5名による書面選考)を行い特別枠新規2名、一般枠新規2名の「採用」を決定しました。

<管理部門>

I 理事会・評議員会の開催

次のとおり理事会・評議員会を開催しました。

《 理 事 会 》 7回開催

第90回(書面)

- ・開 催 日 令和 7年 4月 1日
- ・決議があった日 令和 7年 4月11日
- ・決議事項 第1号議案 「第55回評議員会の招集」について
第2号議案 「選考委員会委員の選出」について
第3号議案 「奨学生選考審査委員会委員の選出」について

第91回(書面)

- ・開 催 日 令和 7年 4月14日
- ・決議があった日 令和 7年 4月22日
- ・決議事項 第1号議案 「第56回定時評議員会の招集」について

第92回(書面)

- ・開 催 日 令和 7年 5月15日
- ・決議があった日 令和 7年 5月23日
- ・決議事項 第1号議案 「令和6年度事業報告及び決算」について
第2号議案 「第57回定時評議員会の招集」について

第93回

- ・開 催 日 令和 7年 6月11日
- ・場 所 金沢商工会議所
- ・決議事項 第1号議案 「理事長の選定」について
第2号議案 「専務理事の選定」について
- ・報告事項 「理事長及び専務理事の職務の執行状況」について

第94回(書面)

- ・開 催 日 令和 7年 7月10日
- ・決議があった日 令和 7年 7月18日
- ・決議事項 第1号議案 「第58回評議員会の招集」について
第2号議案 「選考委員会委員の選出」について
第3号議案 「奨学生選考審査委員会委員の選出」について

第95回(書面)

- ・開 催 日 令和 8年 1月23日
- ・決議があった日 令和 8年 2月 2日
- ・決議事項 第1号議案 「第59回評議員会の招集」について

第96回

- ・開 催 日 令和 8年 3月 2日
- ・場 所 金沢ニューグランドホテル
- ・決議事項 第1号議案 「令和7年度事業計画の一部変更」について
第2号議案 「令和8年度事業計画及び収支予算並びに
資金調達及び設備投資の見込み」について
- ・報告事項 「理事長及び専務理事の職務の執行状況」について

《 評議員会 》 5回開催

第55回(書面)

- ・開 催 日 令和 7年 4月 14日
- ・決議があった日 令和 7年 4月 18日
- ・決議事項 第1号議案 「監事の選任」について
第2号議案 「評議員の選任」について

第56回(書面)

- ・開 催 日 令和 7年 4月 24日
- ・決議があった日 令和 7年 5月 7日
- ・決議事項 第1号議案 「評議員の選任」について

第57回(定時)

- ・開 催 日 令和 7年 6月 11日
- ・場 所 金沢商工会議所
- ・決議事項 第1号議案 「議事録署名人の選出」について
第2号議案 「令和6年度決算」について
第3号議案 「理事の選任」について

第58回(書面)

- ・開 催 日 令和 7年 7月 22日
- ・決議があった日 令和 7年 7月 31日
- ・決議事項 第1号議案 「評議員の選任」について

第59回

- ・開 催 日 令和 8年 3月 2日
- ・場 所 金沢ニューグランドホテル
- ・決議事項 第1号議案 「議事録署名人の選出」について
第2号議案 「令和7年度事業計画の一部変更」について
第3号議案 「令和8年度事業計画及び収支予算並びに
資金調達及び設備投資の見込み」について

「附属明細書」

事業における重要な事項は令和6年度事業報告書に記載されており、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項は、特に無い。

令和 8年 5月